

# 令和4年度第1回徳島県地域公共交通協議会

日時：令和4年7月12日(火) 14時00分～

会場：県庁10階 大会議室・オンライン開催

## 1. 開会

### 【事務局】

- ・事務局開会のあいさつ
- ・配布資料の確認

## 2. 議事

次の議事について協議した。

(1) 令和3年度決算報告【資料1】

(2) 令和4年度予算案【資料2】

※事務局から【資料1】～【資料2】について説明

以降審議

●決算報告、予算案ともに承認された。

(3) パブリックコメント結果について【資料3】

(4) 徳島県地域公共交通計画(案)について【資料4】

※事務局から【資料3】～【資料4】(参考資料含む)について説明

以降審議

●改めて内容を確認いただき、修正等があれば7月19日(火)までに事務局へ連絡を依頼。

●修正があった場合は、計画案修正後、内容確認について会長一任となる。

(5) その他

### ●事務局

新型コロナウイルスの影響により、JR西日本、東日本でも廃線の議論が高まるなど、全国の鉄道路線が存続の危機にある中、JR四国においても、全路線が営業収支で赤字となっており、県内の路線においても近い将来、廃線となる恐れがある。

100円を儲けるのにかかる費用を示す線区別営業係数、四国内18区間のうち、2019年度のワースト5には、ワースト2として牟岐線の阿南海部間が843円、また、ワースト4として、鳴門線の池谷鳴門間が334円、と盲腸線である県内の2路線が入っている。

県では廃線の声が上がる前に対策を講じるため、実際に鉄道を利用いただいている皆様の率直な意見を伺うこととし、この2路線で意識調査を実施しているところである。

廃線の危機は鉄道だけでなく、バスなども含めた公共交通全体に共通する問題だと考えており、県民の皆様には、鉄道やバスはあるのが当たり前ではなく、乗らなければなくなるという危機意識を共有していただくとともに、乗車して残すための利用促進に参加していただく必要がある。

県でも事業者と連携した利用促進キャンペーンを実施しているところだが、市町村、関係機関においても、公共交通に乗車し、残して行くための利用促進や意識醸成に積極的に取り組んでいただきたい。

—以上—